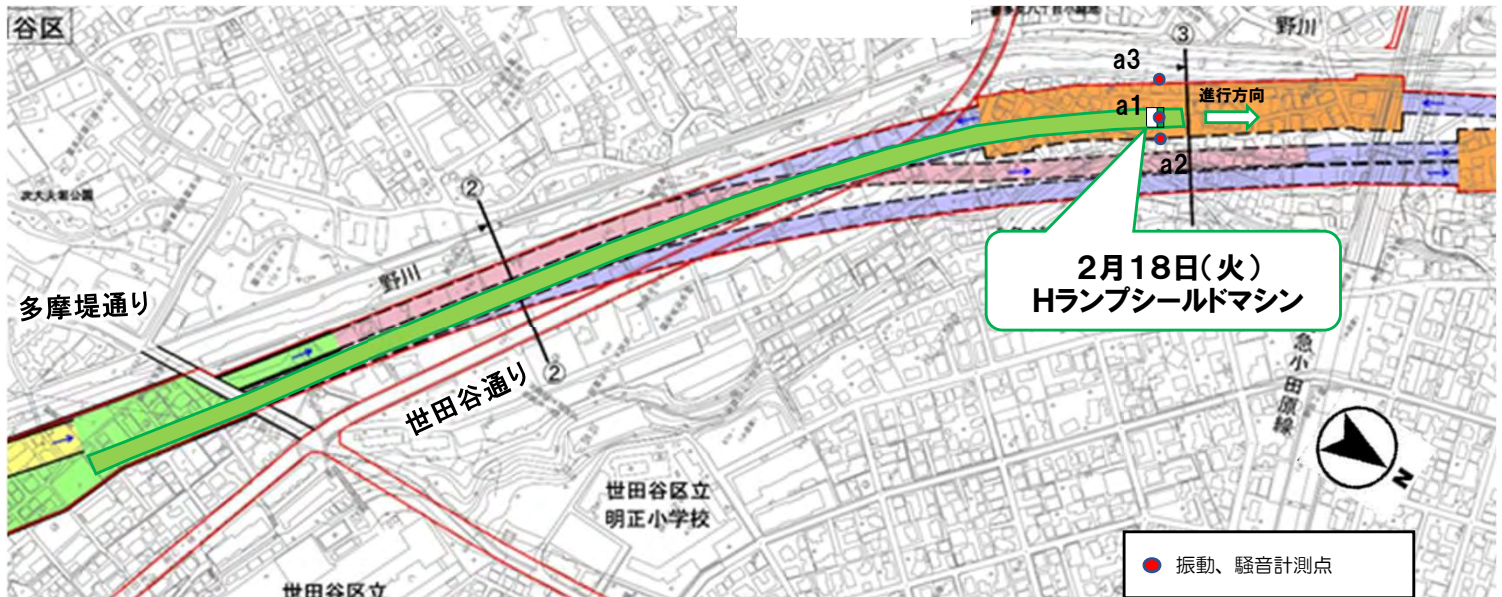


東京外かく環状道路 東名JCT Hランプシールドトンネル工事
振動・騒音計測結果のお知らせ

【シールドマシン位置図】



【2月18日(火) 10:10~20:10 振動・騒音計測結果(確定値)】

	a1		a2		a3	
	停止中 最大	掘進中 最大	停止中 最大	掘進中 最大	停止中 最大	掘進中 最大
振動レベル L_{10} (dB)	30	29	32	29	32	35
騒音レベル L_{A5} (dB)	62	54	60	55	63	62
低周波レベル L_{50} (dB)	68	68				
低周波レベル L_{G5} (dB)	87	76				

* 振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過後にその直上付近で実施しています。
計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、事業用地や公道などで実施しています。

* 上表は、特異値(例: 大型車両通過に伴う振動、緊急車両サイレンなど)を除外した数値を示しています。

【振動レベル L_{10} 】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。

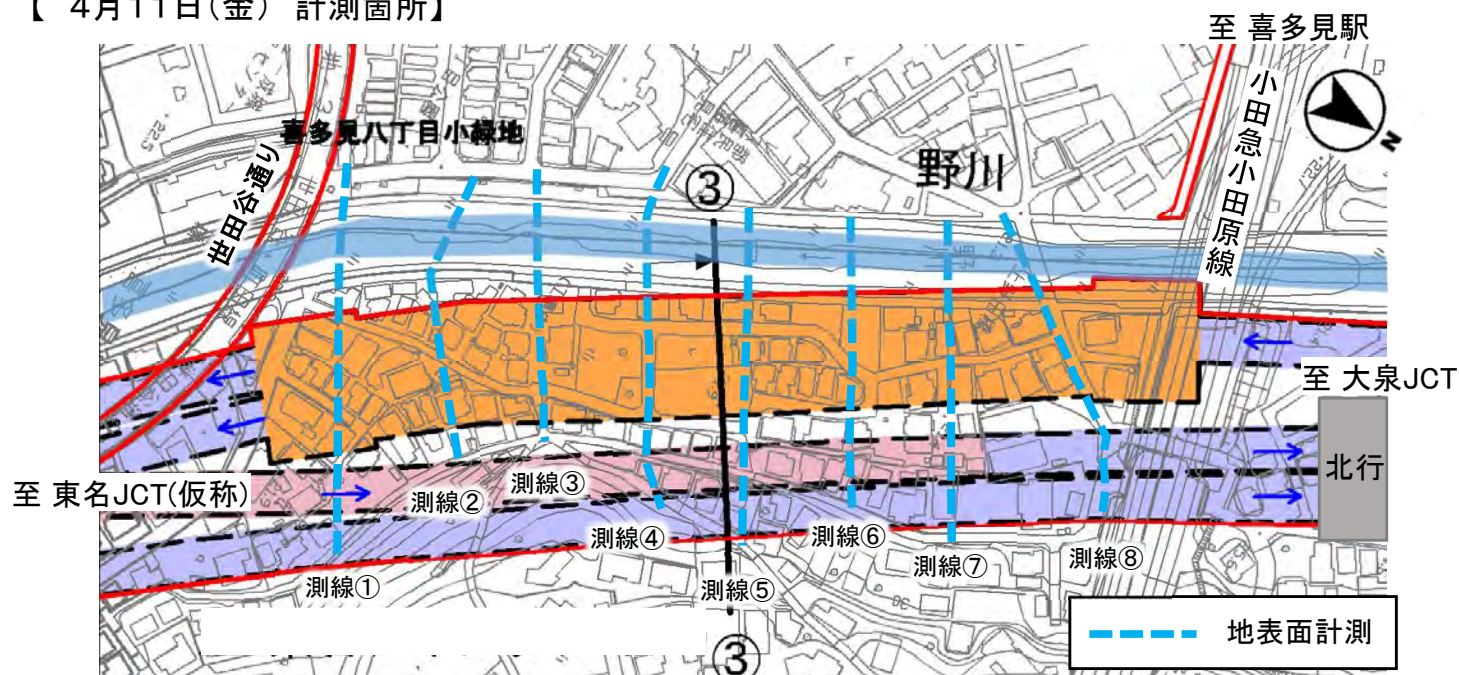
【騒音レベル L_{A5} 】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。

【低周波レベル L_{50} 】 1~80Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値を L_{50} と表します。

【低周波レベル L_{G5} 】 1~20Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{G5} と表します。

東京外かく環状道路 東名JCT 地中拡幅(南行)工事 地表面計測結果のお知らせ

【 4月11日(金) 計測箇所】

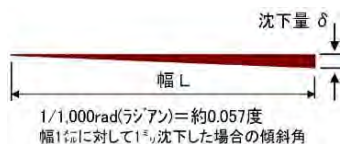


【 4月11日(金) 地表面変位計測結果】

至 成城学園前駅

測線	基準日	最大傾斜角 (rad)	最大鉛直変位 (mm)
測線①	令和7年1月27日	0.0/1000	-1
測線②	令和7年1月27日	0.0/1000	+1
測線③	令和7年1月27日	0.1/1000	+1
測線④	令和7年1月27日	0.2/1000	-2
測線⑤	令和7年1月27日	0.1/1000	-1
測線⑥	令和7年1月27日	0.0/1000	-1
測線⑦	令和7年1月27日	0.1/1000	-1
測線⑧	令和7年1月27日	0.0/1000	+1

※最大傾斜角は、計測地点間の傾斜角の最大値を示しています。



※家屋に影響を与えない地盤変位の目安は、地表面傾斜角
1/1,000 rad 以下となります。
「建築学会小規模建築物基礎設計の手引き1998年」の
記載を参考に設定しています。